



緊急質問

最終日の19日、石川恒夫議員から緊急質問の申し出があり、全会一致で同意しました。
質問と答弁の要旨は次のとおりです。

議会基本条例について

質問 市長は、最近自らのブログで、阿賀野市議会基本条例に対し事実を歪曲し、条例や議会を揶揄する書き込みを続けている。議

会基本条例に関する調査特別委員長として、又、現在は議会改革推進特別委員長として個別具体的事項を精査し、議会改革に向け取り組みの中、ブログの内容は到底看過する事は出来ない。市長の本意を伺う。

答弁 議会の改革に向けての取り組みは「賞価」している。

質問 答弁になっていない。議会改革推進特別委員会では、政策部会、広報部会で改革改善に向けての実践方法を協議しているが、その内容等を把握しているかどうか。

答弁 承知していない。

質問 「阿賀野市議会基本条例」に描いた餅になりそうです」とあるが、その根拠は何か伺う。

答弁 一般論的認識で書き込みをした。

質問 書き込み内容も答弁も非常に軽薄である。しかも、ブログと議会発言に整合性が無い。二元代表制にもとづく市長、執行部と議会の関係等基本的認識が理解されていないのではないか。事実誤認の訂正はもとより、謝罪文の掲載を強く要望する。

答弁 掲載について検討したい。

質問 スピード感を持って対応するよう重ねて要求する。

常任委員会の活動

平成24年1月20日、2月10日に所管事務調査を行いました。

一 水原郷病院民営化後の状況について（1月20日）

平成23年度第3四半期経過（4月～12月）時点での運営状況が報告され、看護師確保により入院制限を解除したことや、麻酔科医師が常勤となり緊急手術が可能となるとともに整形外科等の診療科で診療単価の上昇が見られること、産科での分娩取扱件数が少子化の中でも増加傾向にあること等が報告されました。

しかし、入院・外来患者の減少傾向に歯止めがかかった状況とは言い難く、今後の推移を注視していく必要があると思われます。
委員からは、医師確保と診療内容の改善充実が担保されなければ新病院建設の市民理解も得られない等の意見が出され、設置者である市としてしっかり対応するよう強く要請しました。

二 第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について（2月10日）

第5期計画（平成24年度～26年度）の素案について説明を受けましたが、サービス基盤整備計画については、第4期までの整備状況が県内でも高位にあることや事業者の意向調査等を勘案したとして、小規模多機能型居宅サービス25人（月）と混合型特定入居者生活介護60床（介護保険適用分）の居宅サービスの整備のみ、保険料額については、今後の保険給付見込みや介

護報酬改定等を加算した結果、31・2%増の5,586円になるとのことでした。
これに対して委員からは、「待機者対策が不十分」「被保険者の負担増に理解が得られないのか」「施設整備は継続すべき」との強い意見が出され、委員会としては、幸福都市阿賀野にふさわしい施設整備レベルを堅持するよう強く要望いたします。

社会厚生常任委員会

○閉会中の継続調査事項（6月定例会まで）

- (1) 水原郷病院民営化後の状況について
- (2) 一次救急対応の実情について



総務文教常任委員会

平成24年1月23日に所管事務調査を行いました。

一 水原中学校改築実施設計について

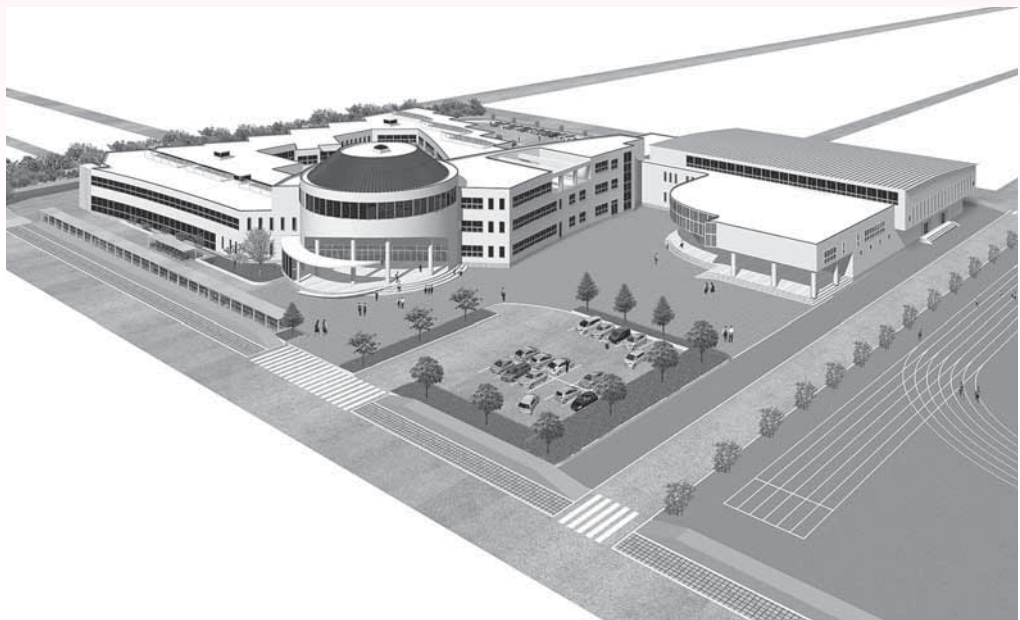
24年4月以降の工事着手を見据え、まとめの段階に入っています。
仕様概要として、構造は校舎・体育館とも鉄骨造ですが、給食棟のみ鉄骨腐食の原因となる多量の蒸気が発生するため、鉄筋コンクリート造としています。
体育館の屋根は、腐食に強い特性のアルミニウムを含んだ合金ガルバリウム鋼板を山型にして二重に葺き、結露防止や雨音等を低減するようにしています。
昇降口上部は、安田瓦を本瓦葺きで一部使用することで詳細が検討されてきましたが、本瓦で円錐状に囲んだ上部に天窗を設置し、下部の音楽室に自然採光を採り入れる計画となりました。

内部は、床はフローリング、腰壁や柱の一部杉縁甲板を使用し、木をふんだんに使ったイメージとしています。
エコ化として、太陽光発電や一部LED照明を設置。冷暖房は灯油よりも扱いやすく価格の変動が小さいのでメリットがあるという判断から基本的にガス利用式。給水は災害時に備え耐震化受水槽プラス加圧給水方式としています。
新しいグラウンドは、飛球等隣接地域への安全面にも配慮した種目配置としています。

二 阿賀野市消防本部署所再編計画について

再編計画については、昨年12月に安田、京ヶ瀬、水原、笹神の4地域審議会が審議が行われました。より効果的かつ効率的な消防体制で市民生活の安全・安心を確保するための適正な署所配置として、老朽化した安田分遣所を適正位置へ移転新築し、現在の4署所を2署所体制にする計画ですが、廃止予定の京ヶ瀬分遣所、笹神分遣所直近の地区は、火災を含めた災害対応の不安があるので対策を考えてほしいとの意見や、後戻りするのではなくお一層の消防体制強化の要望がありました。

再編に伴う建設費用の概算額は、老朽化した安田分遣所の移転新築（用地費含）、統合によ



水原中学校 外観イメージ図

る本署増改築等で約4億6,400万円と見込まれています。24年度に基本計画と実施計画を策定し、25年度着工予定です。
消防本部では再編で消防戦力の低下に繋がらないよう、更に災害対応策強化の推進が必要と考えています。

2月に安田、京ヶ瀬、水原、笹神地区の各会場で市民説明会が開催されました。各自治会へは要望があれば説明会が開催されます。
地域審議会や住民、関係者の意見を反映して、スムーズに再編計画を進めていただきたいと思います。

○閉会中の継続調査事項（6月定例会まで）

- (1) 「サテライト・阿賀野」の現地調査について